

新たな総合計画（長期構想）答申素案について

答申素案の構成・概要 ※下線部は中間報告からの追加・修正点

I. 総論（県づくりの基本方向等）

社会経済状況の変化と対応に向けた基本的な認識を踏まえ、これからの県づくりの基本方向を示す。

◎ 基本的考え方

- ・これからの県づくりの中心的な考え方
未来の発展の源泉となる生命（いのち）や希望を「生み」・「育て」・「活かす」
- ・これからの政策展開
「暮らし」、「産業・経済」、「地域社会」の3つの政策展開の視点に立って県づくりを推進

◎ 県づくりを推進する視点

県民一人ひとりの想いを行動に変え、多様な主体との連携のもとに、以下の4つの視点を重視し、県づくりを推進

- 県民起点・県民との対話と協働
- 地域の資源やストックの積極的活用
- 現場・市町村の重視
- 地方分権時代に対応した行財政改革の推進

◎ 基本目標<検討中>

基本目標の設定の考え方を提示。

II. 県づくり構想

3つの「県づくり構想」の柱及び各構想の基本的考え方と展開方向を示す。

◎ 県づくり構想の柱 <暮らし>

～安心が根つき、楽しさや充実感のある「暮らし」の実現～

◎ 県づくり構想の柱 <産業・経済>

～地域資源と多様な絆を基に固有の価値を生み、安定的に発展し続ける「産業・経済」の実現～

◎ 県づくり構想の柱 <地域社会>

～豊かで質の高い暮らしや活力ある産業を支え続ける「地域社会」の実現～

III. 地域の発展方向

県内の4つの地域における今後の発展方向及びそのための基本方策を示す。

<村山> 都市と農村が共鳴し合い、様々な県民活動が展開される田園都市圏「村山」の創造

<最上> 生涯いきいきと豊かなライフスタイルを実現できる最上の創造～最上エコポリスの新たな展開～

<置賜> 伝統・文化が実を結び、人々が支え合い輝く、力強い産業が根を張る魅力ある置賜の創造

<庄内> 海・山・平野と歴史が育んだ文化・産業と新たな胎動が融合した新しい地域モデルの創造

今後の予定

山形県総合政策審議会において、12月2日より、答申素案に対するパブリックコメントを実施し、県民各層からの意見等を踏まえ、平成22年1月に答申予定